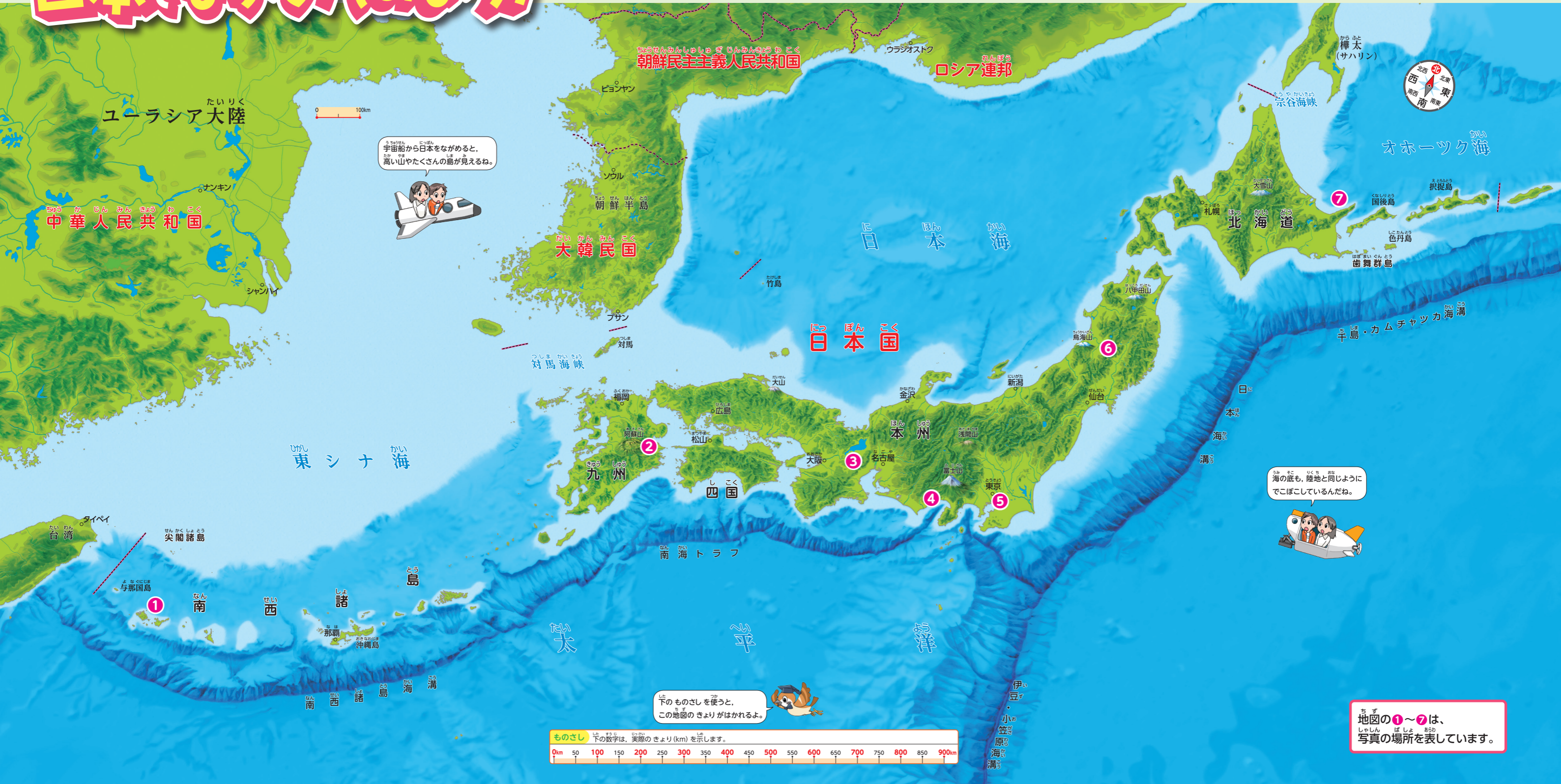


日本をながめてみよう!

下の地図では、色で高さを表しています。陸地ではこい緑が高い山を、緑がうすいところは平地を表しています。ここでは、写真とともに日本の美しい自然のようすを見てみましょう。



① 西表島とサンゴ礁 (沖縄県)
 沖縄本島から400km以上離れた西表島。西表島の近海は、黒潮の影響でサンゴ礁が発達し、多くの種類のサンゴや熱帯魚が生息しています。

(写真: アフロ, pasma/a. collectionRF)



② 阿蘇山 (熊本県)
 九州地方中央部、熊本県に阿蘇山があります。世界でも有数の大型カルデラ(火山の噴火でできたぼ地)と雄大な外輪山をもつ、今も活動し続ける火山です。



③ 琵琶湖 (滋賀県)
 滋賀県にある琵琶湖は、日本一面積の大きい湖で、世界で最も古い湖の一つです。琵琶湖にしかない(固有種)生物もすんでいます。



④ 富士山と茶畑 (静岡県)
 日本一の高さを誇る富士山は、静岡県と山梨県の境にあります。富士山の自然の雄大さは古くから人々の心をとらえ、信仰の対象とされてきました。



⑤ 関東平野と利根川 (千葉県)
 関東平野は、関東地方一都六県にまたがる日本で最も面積の広い平野です。この平野を日本の流域面積を誇る利根川が流れています。



⑥ 田沢湖 (秋田県)
 田沢湖は、日本で最も深い湖で水深は423m。るり色の湖面と、永遠の若さと美貌を願う麗となり後に湖神になったと伝わる「たつこ姫伝説」で有名です。



⑦ 知床半島と流氷 (北海道)
 オホーツク海北部でつくられた流氷が北海道に向けてゆっくり南下し、2月初旬ごろ知床半島に接岸、だんだんにオホーツク海を満たしていきます。